

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成12年度(実質平成11年10月)		根拠法令・規程等	介護保険法	
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり				
	小項目	施策	05	介護保険				
事務事業名		03	介護保険計画策定趣旨普及事業		問担当課(室)	介護福祉課		
			職・氏名	介護保険係長 玉野直美		問合先	電話	0869-64-1828

事業の実施		対象(誰・何に対して)	要介護・要支援認定者及び介護者	
目的(何のために)		介護保険事業計画を策定し、各年度の介護保険サービスの見込み等をたてるとともに、介護保険制度について市民への周知を図る。		
行政活動(どのような方法で)		3年ごとの介護保険事業計画を策定するにあたり、委員会を開催し事業計画の策定と事業の実施状況についての意見をいただく。また、介護保険制度について広報、パンフレット等により制度の周知を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		第3期介護保険事業計画(平成18~20年度)の成果を見極めつつ、団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を見据え、その状況に対応できる第4期介護保険事業計画を策定する。		

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	策定委員会回数	回	1	1	5
	広報掲載回数	回	2	2	2
	パンフレットの種類	種	2	3	1
制度普及の説明会	回	6	12	22	
実績	直接事業費	千円	493	638	1,348
	必要人員人件費	千円	0.35人 2,970	0.09人 712	0.35人 2,791
	事業費	千円	3,463	1,350	4,139
	国・県・市・受給者負担	千円			
総収入	千円				
その他()					
一般財源		3,463	1,350	4,139	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	策定委員会	説明	介護保険事業計画の審議、検証等を行なっている。		
	結果指標量	回	1	1	5
	対前年対比	%	-	100.0%	500.0%
	活動コスト	円	53,640	45,500	1,074,868
単位当たりコスト	円	53,640	45,500	214,974	
結果指標②	制度普及の説明会	説明	民生委員会・ケアマネジャーの集いを利用する。		
	結果指標量	回	6	12	22
	対前年対比	%	-	200.0%	183.3%
	活動コスト	円	2,115,000	348,000	531,000
単位当たりコスト	円	352,500	29,000	24,136	

事業の成果						
制度普及の説明会	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	制度普及の説明会	目標値(A)	10	10	10	20
		実績値(B)	6	12	22	到達目標年度
		達成率(B/A)	60.0%	120.0%	220.0%	21
成果指標設定の考え方・式や説明						
民生委員会(8箇所×年2回)・ケアマネジャーの集い(奇数月)等で制度普及のための説明会を実施した回数						

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		A
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	判定理由・課題認識	
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	第3期介護保険事業計画に基づく事業実施状況について、策定委員会において適正なものとなるように審議、検証するとともに、第4期計画を策定した。		
	<input type="checkbox"/> 説明			
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	効率性評価<A~E>	
		<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識	
目的達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	有効性評価<A~E>	
市民参画度		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	制度改正の内容についてPRをおこない、適正なサービス利用が行われるように啓発活動をしていく。地域密着型サービスについて、広報等を活用し、さらに市民・事業者へ情報提供を行っていく必要がある。	

平成21年度の状況		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	1	20	21	20	21	20	21
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
説明	今年度(平成21年度)は第4期介護保険事業計画の初年度のため進捗状況を報告するため策定委員会を開催する。そのため開催目標を少なくしている。趣旨普及については、今年度から認定調査内容の変更や報酬改定もあり、前年以上の取組が必要である。広報・HP・出前講座により行なっていく。						

総合評価		評価区分<A~E>	B
平成20年度は第3期介護保険事業計画の最終年であるためその検証と第4期介護保険事業計画の策定を行なった。計画についてパブリックコメントを実施して市民の意見を募集した。制度の趣旨普及のために広報やHPによりPRを行なった。			

平成22年度以降の方向性・内容		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
方向性	1	20	21	20	21	20	21
説明	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
改善がある場合	第4期介護保険事業計画の中間年であるため、計画の進捗状況の報告をする。趣旨普及については、広報・HP・出前講座により行なっていく。						
改善の視点	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			